

# 再建の流れ

## 現状分析と方針決定

### 客観的な分析

・過去三カ年の決算書等により過去からの流れを客観的に分析、再建への道筋を書きます。困難度に応じて改革、再生、転生の再建方法を選択します。精神的、体力的に限界であれば「倒して産む」の意味の倒産に導きます。

## 運転資金の確保と営業利益の捻出

・再建の急場を凌ぎ、生き抜くための運転資金を確保します。もちろん、余剰資金が無い中での資金の捻出は簡単ではありません。常識にとらわれないあらゆる方法でひねり出し再建に備えます。同時に営業利益を捻出します。どんなに苦しい状況であっても営業利益を計上出来れば乗り越えられます。知恵を絞りとことん考え創ります。

## 計画書の作成と通知

### 悲観的な分析

・再建計画書として誰の目からも納得できるものを内外用に作ります。そして、不安に思っている関係者全員に計画書に基づき進む方向を示し、理解と協力を取り付けます。

## 実行

### 楽観的な実行

・再建計画書に基づき、常に報告と軌道修正を図りつつ、周りの協力を得ながら進んでいきます。